

かんら

議会だより

群馬県甘楽町議会
令和3年10月15日

187号



上州新屋駅

※表紙の説明は10頁をご覧ください。

インターネットからも
閲覧できます!



令和3年9月定例会

第3回定例会	2~3
4人の議員が一般質問	4~7
議会活動報告	8

全員協議会報告	9
かんらの歴史を綴る風景、 編集後記	10

第3回定例会(9月)

第3回定例会を9月10日(金)～17日(金)までの8日間開催しました。

町長から提出された諮問1件、議案20件について審議・採決した結果、すべて原案のとおり可決しました。

最終日17日には、議員発議による意見書提出1件を承認し、4名の議員が6問の一般質問を行い、閉会しました。

町長提出議案

◆令和3年度補正予算 5件

○介護保険事業特別会計 (第1号)

○農業集落排水事業特別会計 (第1号)

○公共下水道事業特別会計 (第1号)

○水道事業会計 (第1号)

◆諮詢 1件

○人権擁護委員の推薦 1名

◆表彰関係 1件

○有功者の選定 1名

◆条例の一部改正 6件

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例

○指定居宅介護支援等の事業

○ふるさと伝習館の設置及び管理に関する条例

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

議員発議 1件

言葉の説明

「決算認定」とは?

1年間（4月1日～3月31日）に町に入ったお金（収入・歳入）や町が使ったお金（支出・歳出）について、議会がその内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたことが確認されれば「認定」となります。

→ 決算認定までの流れ

令和3年3月31日
会計年度終了

令和3年5月31日
出納閉鎖

令和3年8月
監査委員の審査

会計管理者が、決算を
町長に提出

監査委員が決算を審査後、
町長に審査意見書を提出

令和3年9月
議会定例会にて審査

町長は監査委員の意見書を添えて議会に決算認定を求める
議会は決算を審査し、適正であることが確認されれば認定する

認定された令和2年度決算の状況

(単位：万円)

会計別	歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引額 (令和2年度)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度		
一般会計	75億3,276	54億2,551	72億2,517	51億7,193	3億759	
国民健康保険事業特別会計	15億4,527	15億9,147	14億7,844	14億9,854	6,683	
介護保険事業特別会計	12億7,483	12億4,947	12億3,949	12億3,854	3,534	
農業集落排水事業特別会計	1億3,245	1億4,118	1億3,190	1億4,062	55	
公共下水道事業特別会計	5億3,511	5億657	5億3,450	5億591	61	
後期高齢者医療特別会計	1億4,921	1億4,365	1億4,813	1億4,150	108	
水道事業会計			収入	支出		
			令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
	収益的収支(税抜)		2億4,024	2億4,411	2億965	2億2,449
	資本的収支(税込)		3億1,964	178	4億8,669	1億5,902

*資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金・建設改良積立金・当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。

議員の賛否がわかった審議議案

議員名 議案名	山田光男	堀口博	白石豊樹	吉田恭介	横尾稔	相川忠夫	金田倍視	黒澤篤	中野喜久勇	富岡朝男	山崎澄子	山田邦彦	議決結果
議案第63号 令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可
議案第66号 令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可

*「○」は賛成。「×」は反対。

*上記以外の議案については、すべて全会一致で承認されました。

「ここが聞きたい！」

「一般質問」

「一般質問」とは、議員が、町長をはじめとする執行機関に対して行う質問のことです。

内容は行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただしたり、報告や説明を求めたりします。

※内容を要約して通告順（発言順）に掲載します。



- ①新型コロナ感染に対する児童、生徒の指導
かねた ますみ
金田 倍視 議員

③ヤングケアラーへの対応について
しらいし とよき
白石 豊樹 議員

③コロナで困っている人への支援を
やまだ くにひこ
山田 邦彦 議員

④補聴器の購入補助制度の創設を
山田 邦彦 議員

⑤「ゾーン30」の指定を
山田 邦彦 議員

⑥防災力の担い手確保について
よこお みのる
横尾 稔 議員

の事情があります。子供は悪気がなくとも無意識のうちに言葉や態度で他人の心を傷つけて仕舞うことがあります。

児童生徒も新型コロナについて恐れと不安の重大関心事です。

従つて感染者や、特にワクチン接種を希望しない人への差別や虐めがないう、指導対策に取り組んでいる事がありまし

たら教えて下さい。

町では、8月13日から12歳以上のワクチン接種予約が開始され、希望する児童生徒のワクチン接種が行われています。今まで染者への配慮

授業、特別活動、相談などを通じて、生徒への指導を行っています。

低年齢層の感染者が急増しています。感染経路では子が感染し家庭に持ち込む事例も増加です。児童生徒の予防接種が始まっていますが、接種を希望

■ 教育長 各小中学校を中心に行つてでは新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止に努めるとともに、感染者へのいじめ、誹謗中傷が発生しないよう「いじめ防止基本方針」を改定し、各校で取り組みます。

きましたが、ワクチン接種についても接種を希望しない人への差別



金田 倍視 議員

問 接種を希望しないじめ対策は

答 道徳の授業など 対策に取り組む

道

問

接種を希望しない人への差別・いじめ対策は

かんら議会だより 2021.10.15 (4)



■議員 18歳未満で、親や幼いきょうだいなどの家族の介護や家事を担う子ども達のことです。学校がヤングケアラーといいます。自由時間の制限、学業時間の圧迫や不登校が心配されます。

上毛新聞が、県内に調査したところ「ヤングケアラーだと思われる子どもがいる」との回答は35市町村のうち5市町村。厚生労働省の全国調査では、中二で「ケアをしている家族がいる」と回答した生徒は、5.7%で17人になりました。1クラスに2人いることに。

そこで本町における「ヤングケアラー」の実情について、また、今後の支援への考え方や具体的な方策についてお聞かせください。



出典：一般社団法人日本ケアラー連盟（一部抜粋）

■議員 18歳未満で、親や幼いきょうだいなどの家族の介護や家事を担う子ども達のことです。学校がヤングケアラーといいます。自由時間の制限、学業時間の圧迫や不登校が心配されます。

上毛新聞が、県内に調査したところ「ヤングケアラーだと思われる子どもがいる」との回答は35市町村のうち5市町村。厚生労働省の全国調査では、中二で「ケアをしている家族がいる」と回答した生徒は、5.7%で17人になりました。1クラスに2人いることに。

そこで本町における「ヤングケアラー」の実情について、また、今後の支援への考え方や具体的な方策についてお聞かせください。



白石 豊樹 議員

答 「ヤングケアラーへの支援や方策は連携し取り組む」

問

早期にヤングケアラーを見つけて取り組む

答

早期にヤングケアラーを見つけて取り組む

■教育長 町では、学われます。学校がヤングケアラーの発見の場と位置付け、

学校での様子や教育相談などを通じて、家族の介護や身の回りの世話をを行っていると思われる児童生徒がいるか確認をしました。また、健診・介護・障害等からの情報や民生委員・地域情報課による見守りや声かけなどの気づかいをしている

ハード、ソフト等々、命を守るネットワークを壊してはならない。という教訓は周知だと思います。

①国保税・介護保険料・後期高齢者保険料の減免措置の拡充（前々年比）をしてはどうか。

②「住宅リフォーム補助」は大変好評ですが、「大切」となってしまいました。ぜひ拡充を。

③現在策定を進めている

「甘楽町第6次総合計画」

で、子どもの

居場所づくりの充実を図れ

るよう考えて

いきます。

④他のプランは？

④飲食店や酒

- ①前々年とロナの猛威は衰えていませんが、病院、病床、医師、看護師、その他医療関係者、保健所のハード、ソフト等々、命を守るネットワークを壊してはならない。という教訓は周知だと思います。
- ②3年度は対象となる改修の範囲を広げて予算化します。
- ③現在策定を進めている「甘楽町第6次総合計画」で、子どもの居場所づくりの充実を図れるよう考えていきます。
- ④他のプランは？



木の砂場



山田 邦彦 議員

答 「前々年所得額との収入比較の減免は考えていない」

問

国保税、介護・後期高齢保険料の減免拡充を

答

前々年所得額との収入比較の減免は考えていない

■町長 ①「前々年」とすると、他の被保険者が甘楽町を離れて暮らしている学生へ食品の詰め合わせを送る支援を行っています。

また、9月中に新たなコロナ対策事業を行ってます。

店への町独自の支援や甘楽町を離れて暮らしている学生へ食品の詰め合わせを送る支援を行っています。

また、9月中に新たなコロナ対策事業を行ってます。

まとめる予定です。

②3年度は対象となる改修の範囲を広げて予算化します。

た。4年度以降も継続していく予定です。

③現在策定を進めている「甘楽町第6次総合計画」

で、子どもの

居場所づくりの充実を図れるよう考えて

いきます。

④他のプランは？

④飲食店や酒

山田 邦彦 議員

問

障害者認定されない人への補聴器購入の補助を 専門医の診断結果により障害者認定後に 補助する

答

■議員 高齢者は難聴が原因で、認知症のリスク・自動車や災害の「警報」に気づかぬ危険があります。

①「聴力検査」をするべきと考えますがどうでしょう。

②その上で、必要な人へ補聴器購入の補助を実施すべきだと思います。保険対象にすべきと思いますが、必要だと思いますが、いかがでしよう。

③子どもたちにも「基準」に達しない人には同様な補助が必要です。

④補助額は、全額が理想ですが、半額。保険と同じように、1ヶ月負担が良いと思いますがいかがでしよう。

③④障害者認定されていない18歳以下の人は購入補助制度があります。交付に



補聴器

■町長 特定健診の検査項目に含まれていないことから住民の皆さんには実施していません。3歳児健診時に聴力の確認、就学時健診時や新生児に対しても聴力検査を行っています。

②身体障害者手帳を持つている人には補助制度があります。専門医の診察結果により障害認定を受けた人に 대해서も、補助金の交付をしていきます。

③④障害者認定されていない18歳以下の人は購入補助制度があります。交付に

は基準があり、要綱では特定健診の検査項目に含まれていないことから住民の皆さんには実施していません。3歳児健診時に聴力の確認、就学時健診時や新生児に対しては聴力検査を行っています。

■町長 最も重要な交通安全対策の一つが、登下校時の児童生徒の安全対策です。

町内各小学校の通学路とになっている周辺道路は、歩道

の列に自動車が突っ込んだ、「死傷者が出た」という悲惨な事故が起こっています。かつて「交通戦争」時の死者数は、(ピークの1970年)1万676人が今年の上半期は、1198人と大変減少しましたが、ゼロにはなっていません。

特に、子どもたちが通学途中に交通事故に遭うことは決してあってはなりません。

そこで、交通事故削減に効果のある「ゾーン30」を指定し、子どもたちの「安全・安心」を確保してはどうでしょうか。

町でも各小学校を中心とした「ゾーン30」が指定されれば、より安全な通学路となりますので、今後町の通学路とになります。

心にゾーンを決めてはいいがでしよう。



山田 邦彦 議員

問

各小学校を中心にゾーンの指定を 町の通学路交通安全推進協議会等で検討する

答

特に地域防災の中核を担う消防団は団員確保に苦慮されています。少子高齢化が大きな要因と言えども看過できません。

① 消防団員確保に向け報酬引き上げを考えるべきと思われますが、いかがですか。

② 災害知識や技能を持つ防災士資格者は何名いますか、今後増やす考えありますか。

円を報酬額とするよう報告していますが、町の一般団員の報酬は3万1000円です。そこで、引き上げについて来年度までに検



議員 コロナ感染拡大で今まで以上に行動制限が強く求められる中、地域の人とのつながりが希薄化する現状に不安と危機感を感じます。

町長 消防団は、火災発生時の消火活動のほか、大雨や地震の際には担当する地域の状況確認、避難が必要な場合は避難の呼びかけ、誘導、災害箇所の応急復旧等の任務に当たつてもらっています。地域住民にとつて身近で頼りになる機関であり、町の防災対策にとっては必要不可欠な

討します。

②町内に防災士の資格を持った人は3名います。資格取得の補助制度を昨年度から制定し、補助金を予算措置して防災士の増員を図っているところです。

横尾 稔 議員

**消防団員確保に向け報酬引き上げを
引き上げる**

**一般質問の様子(一部)を
YouTube(ユーチューブ)で動画配信しています!**

町ホームページ [<https://www.town.kanra.lg.jp>] からアクセスしてください。【QRコードはこちら】



「ここをクリック！」

「ここをクリック!」

ここをクリック!

チャンネル登録も
お願いします♪



ご覧になった感想をお寄せください

※お寄せいただいたご感想は議会だよりに掲載させていただく場合があります。(個人を特定できる氏名などは公表しません)

宛先 〒370-2292 甘楽町大字小幡161番地1 甘楽町議会事務局
E-mail:gikai-jimu@town.kanra.lg.jp



議会活動報告

消防車納車式 9月10日(金)

甘楽町消防団第1分団第1部に新しい消防ポンプ自動車が配備されました。

納車式の後、車両の内部などを見せていただき、機能や使い方について担当者から説明を受けました。町民のみなさんの安全・安心のため、今後活躍することでしょう。



次回の定例会は12月です

12月9日(木)～15日(水) <一般質問は15日(水)の予定です>

本会議の会議録は、町ホームページの「甘楽町議会」でご覧になれます <https://www.town.kanra.lg.jp>

議会を傍聴
しませんか？

9月定例会の傍聴者は9人でした。傍聴について、詳しくは
議会事務局(☎74-3022)までお問い合わせください。

ご協力を願いいたします

傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と距離を保つての着席をお願いいたします。また、発熱や風邪症状のある方の傍聴はご遠慮いただいております。



日程（主な活動記録）



議会を傍聴して

9月17日に議会を傍聴しました。平素は、コロナ禍での生活に特に注意しながら毎日を送つてきました。そんな中、議会の傍聴をし、大変勉強になりました。質問する人、対応を受け答弁をする側の、意見を交わす場面が参考になりました。より良い町づくりの表れではないのでしょうか。私達住民は、より安心・安全に暮らせる様、町の進歩・発展を願っています。

70代・女性

全員協議会報告

議員協議會

- 広域市町村圏振興整備組合臨時会報告 他17件

全員協議会

- ## ○新型コロナウイルス感染症について 他15件

議員協議會

- 富岡地域医療企業団報告・意見交換会報告 他12件

全員協議会

- #### ○新型コロナウィルス感染症対策について 他15件

議員協議會

- 小口融資審查委員會報告 他5件

全員協議会

- #### ○新型コロナウィルス感染症対策について 他12件

かんらの

歴史を綴る

風景

2

日本で最初 学校給食の碑

町指定重要文化財

■所在地 甘楽町大字福島939-1 甘楽町立福島小学校内



議会広報常任委員会の委員で石碑と周辺を清掃し、刻まれた文字が読みやすくなりました。

福島小学校では、1932年（昭和7年）12月より、栄養改善を目的とした日本で初めての学校給食が開始されました。当初は、児童が主食のご飯を持参し、おかげを学校の給食室で調理し提供していたそうです。

校庭の一角（南西方向）に建てられている「学校給食の碑」は、この学校給食に昭和天皇陛下が深くご関心を寄せられ、同校の栄養給食状況を使者にご視察させた記念碑です。

全高1.9mの台石上にあり、碑高3.2m、幅1.6m、厚さ13~16cmの黒御影石で、表面には「御使御差遣記念碑
栄養研究所長 栄養学校主 佐伯矩」、裏面にはこの碑を建立した経緯等が刻まれています。当時の状況がよく理解でき、歴史的にも地方史的にも重要な碑であることから、2018年（平成30年）に町指定重要文化財に指定されました。

学校給食発祥の地を象徴する碑として、多くの方にご覧いただきたいと思います。

出典：「甘楽町の文化財」

編集後記



例年なら10月のこの時期、私の住む区では午後7時をすぎると秋風と共に笛・太鼓の音色が聞こえます。産業文化祭に披露する神楽囃子の響です。

伝統芸能の伝承の意味合いも強く、一段と練習に熱が入るはずが、今年はコロナのため中止になってしまい残念です。

由来は疫病や飢饉から人々を守るために行われたとされ、人の頭を噛むことでその人に付いている悪いものを食べてご利益をもたらすと言われています。

コロナ収束に向けて「魔祓い」にかかる思いです。

横尾 稔 記



皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。

議会広報常任委員会

議長 発行責任者
中野喜久勇

委員長 山田 邦彦
副委員長 堀口 勇
委員 山田 晃一
山崎 黒澤 横尾 光男
瀬子 篠 稔 博

（撮影と文）堀口 博
来春には、甘楽第一産業団地に「めんたいパーク」が開業駅として今後ますます賑わいが予想されます。

表紙の説明

上州新屋駅は、1915年（大正4年）に「新屋駅」として開業し、1921年（大正10年）に現在の駅名に改称され、町東部の玄関口として地域住民に親しまれてきました。2004年（平成16年）10月からは無人駅となり、現在に至っています。

道路拡幅のため、本造駅舎等は解体され、現在地から線路を挟んだ北側に新築移転する予定です。

来春には、甘楽第一産業団地に「めんたいパーク」が開業駅として今後ますます賑わいが予想されます。